

課題番号：H29-1
研究課題名：肺癌患者由来 DNA を用いた体細胞遺伝子変異検出系の評価
実施代表施設：事務局までお問い合わせ下さい 実施責任者：事務局までお問い合わせ下さい
実施期間：倫理委員会承認後～ 2018年 3月
対象となる試料・情報
2009年5月～2016年12月までに「診療で採取した組織、血液をつくばヒト組織バイオバンクセンターで保管することについてのお願い」(2016年9月以降)、及び「筑波大学附属病院で診療を受けられる患者さんへ」(2016年9月以前)により同意の得られた患者試料・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 組織 (対象臓器：肺組織切片(FFPE) 対象疾患：肺癌) <input type="checkbox"/> 血液試料 <input type="checkbox"/> 臨床情報
研究の目的、意義
肺癌患者の治療薬の選択に際して、特有の体細胞遺伝子変異の検出が行われているが、この研究では、新しく構築した高感度でマルチプレックスに検出可能な検出系の特異性を、実際の患者由来の検体で実施し、実臨床で利用できることを証明する。さらに、既に実臨床で使用されている方法と比較し、検出感度や汎用性などが、同等以上であることを確認する。そして、構築した検出系を用いた臨床研究により、肺癌患者治療への遺伝子変異のより正確な情報提供に繋げる。
実施方法
筑波大学附属病院つくばヒト組織バイオバンクセンターから分譲された肺癌患者由来 FFPE 検体からゲノム DNA を抽出し、目的の体細胞遺伝子の変異の有無を、独自で構築した検出系で確認する。さらに、既に実臨床で使用されている方法との比較も行う。
問い合わせ窓口

筑波大学附属病院つくばヒト組織バイオバンクセンター（担当者 竹内）

電話/Fax ：029-853-3715

E-mail ：bank298@hosp.tsukuba.ac.jp